




# 2019年度 福祉助成金（活動助成）成果報告書 提出用

公益財団法人 橋本財団  
理事長 橋本 俊明 様

2020年3月31日

ふりがな	にんちしょうのひとと かぞくのかい おかやまけんしふ			
団体名	認知症の人と家族の会 岡山県支部			
代表者名	役職名	代表	氏名	尾崎 善規
連絡先	住所	赤磐市桜が丘西8丁目26-3		
	TEL	090-8719-4412		
	E-mail	ozaki527_z@ybb.ne.jp		
	URL			
設立年（西暦）	1998年			
主な活動	会報作成（850部/月）、つどい（県内4カ所/月）、電話相談			
活動の対象者	認知症介護家族経験者と現介護家族			
助成活動名	認知症介護家族経験者と介護家族支援事業			
助成額	500,000円			
実施内容	目的	「介護経験者が現在介護されている方達とつどい、介護経験者自身の体験から得たノウハウを参考に語り合い過ごす場の展開、及び介護サービス等について勉強し役立てる。会員だけでなく世間の方達にも参加頂く。」		
	内容	実施は、つどいの回数を5回重ねて来ました。目的通りの内容で実施。つどいでは「蒲生委員長と寺嶋委員長」の司会により展開。また、事務局委員（尾崎、明楽）によるDVD「恍惚の人」鑑賞会、介護保険制度でのサービスについての講座等や、会員111名を県福祉会館に参集、世界アルツハイマーデーを記念し、映画会社に依頼、ドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」呉市の認知症高齢者両親を娘さんが「映画化」を実施した。		
	成果	つどいにより、認知症介護家族として対応等の手法や、他にも介護されている方の認識、うまく介護されている方の話を聞くことが出来たとの評価を得た。「家族の会集い」は誰でも参加出来るから、焦点が見えにくかった事もある。介護家族だけがつどい場となり、その成果も会報誌で公表出来た事も成果と言える。参加者の中には、きっと役に立てていただいた方もいると考える。		
今後の課題と対応策	ボランティア団体の中での「事業」としての、その目的を上記とし重ねて来ましたが、「家族の会」役員からは成果の見えにくい事業とされ理解頂くのに苦しみました。財団からの要望にも「主に認知症カフェマップ作成とそのための調査に使用ください。」とコメント頂きました。次年度は方向の転換を考えます。			
参加者・利用者の感想など	人前での会話が苦手な私も「仲間」意識のせいなのか自然な形で会話が出来た。皆さんの話を聞き「介護疲れ」となっていた私にも希望が見え救われた。介護保険サービスについて学びこの先活かすようにします。自分は介護家族であるが認知症となっている、だが、この事業に参加することで介護度も良くなっている。			
写真の提出	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			